

令和6年度大野城市人権問題に関する 市民意識調査結果報告書(概要版)

【調査のねらい】

人権問題に関する市民の皆様の意識を把握し、教育・啓発事業等の人権施策の一層効果的な推進を図るとともに、今後本市が取り組むべき人権行政のあり方を検討する上での基礎資料を得るために実施しました。

調査の方法

調査対象者	市内に居住する18歳以上の男女2,000人 (令和6年4月1日基準日)
調査方法	郵送・インターネット併用法 (郵送配付、郵送回収・インターネット回答)
調査期間	令和6年8月16日(金)～9月6日(金)
配付数(A)	2,000人
不達数(B)	9人
回収数(C)	944人
有効回収率(C/A-B)	47.4%
調査結果の分析、総括	溝口 一孝 氏
調査項目	(1) 人権全般について (人権が尊重されているか、人権問題への関心、しきたりや慣習などに対する考え) (2) 様々な人権問題について ① 同和 ② 女性 ③ 子ども ④ 高齢者 ⑤ 障がい者 ⑥ 外国人 ⑦ HIV感染者・エイズ患者 ⑧ ハンセン病患者 ⑨ 性的少数者 ⑩ 働く人 ⑪ インターネットによる人権侵害 (3) 人権啓発について (啓発冊子、研修会への参加状況、学習意欲)

【調査結果の総括】

今回の調査では、『働く人に関する問題』と『インターネットによる人権侵害に関する問題』への関心が高くなっている一方、人権問題への関心の低下が明らかになりました。自分が直面する問題への関心の高まりが、必ずしも人権問題そのものへの関心につながっていないようです。また、研修会への参加経験も大幅に減少しており、新しい手法を取り入れ、幅広い世代に届く啓発を検討する必要があります。

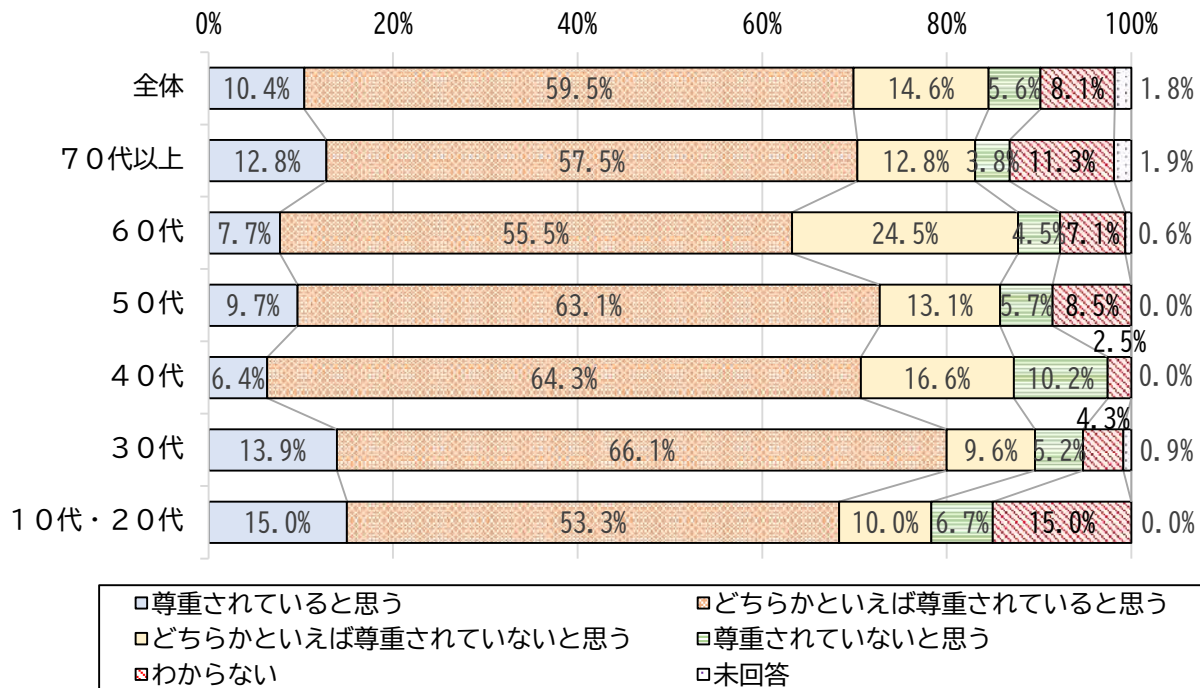
【概要版の見方】

- 調査票を集計した数値は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- 調査票の選択肢の文章が長い場合は、要約して短く表現している場合があります。

(1) 人権全般について

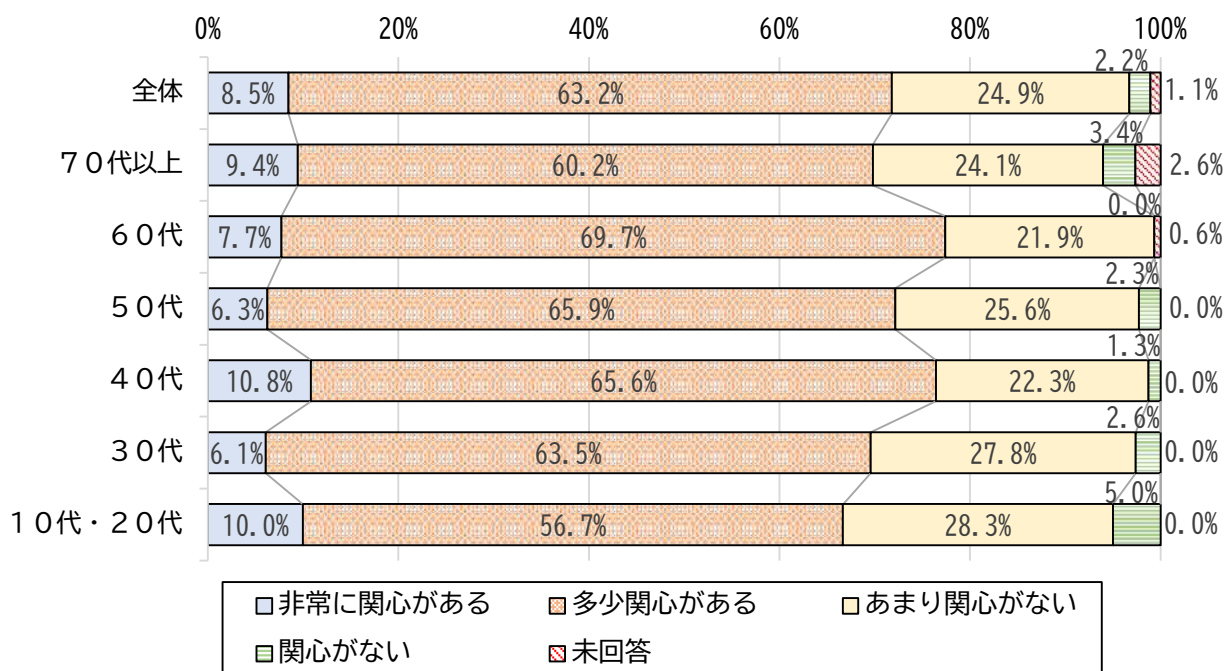
① 現在の日本社会が人権が尊重されている社会だと思いますか

全体では、「尊重されていると思う」、「どちらかといえば尊重されていると思う」とした人が 69.9%となっており、年代別で見ると 30 代が最も多くなっています。



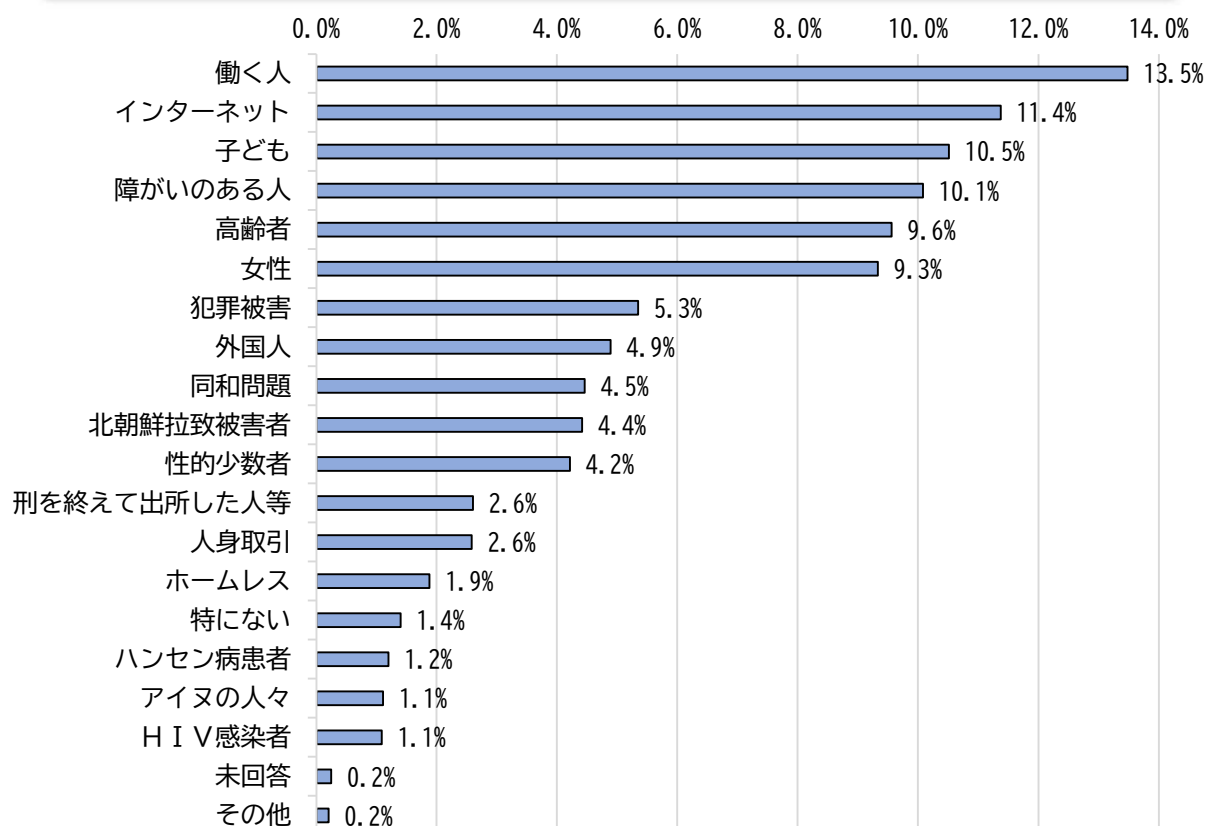
② 人権問題にどの程度関心がありますか

全体では、「非常に関心がある」、「多少関心がある」とした人が 71.7%となっており、年代別で見ると 40 代と 60 代が多くなっています。



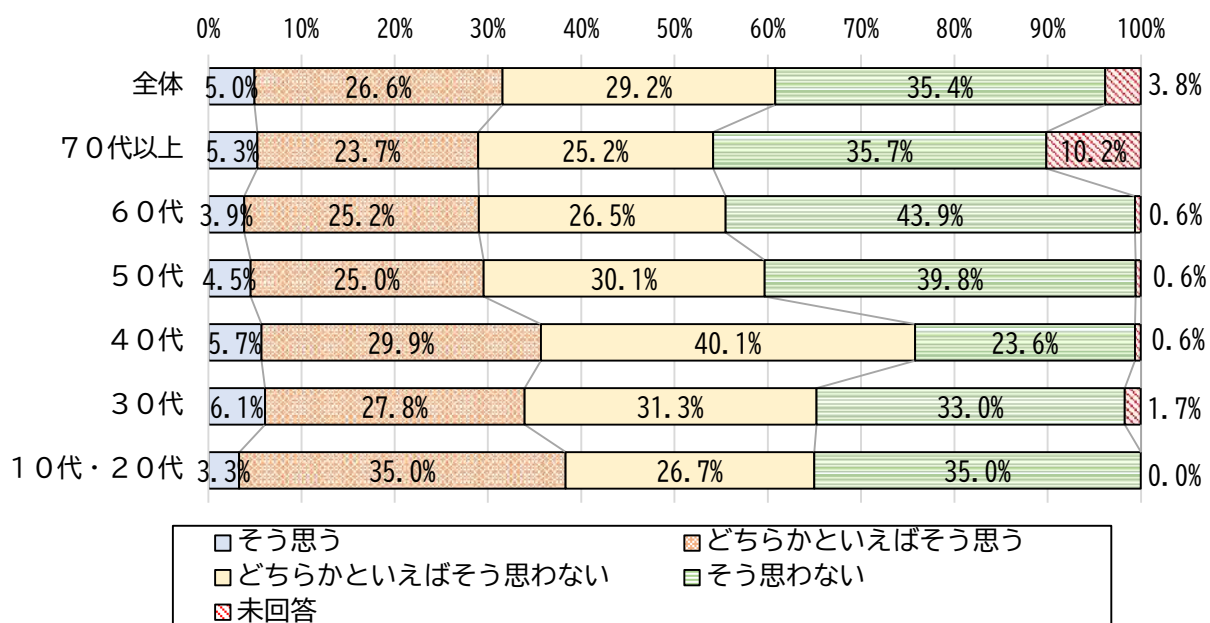
③ どのような人権問題に関心がありますか

「働く人に関する問題」が最も関心が高くなっています。また、インターネットによる人権侵害、子ども、障害のある人に関する問題への関心が高くなっています。



④ 「人間社会では、ある程度の差別は仕方がない」という考え方について、どう思いますか

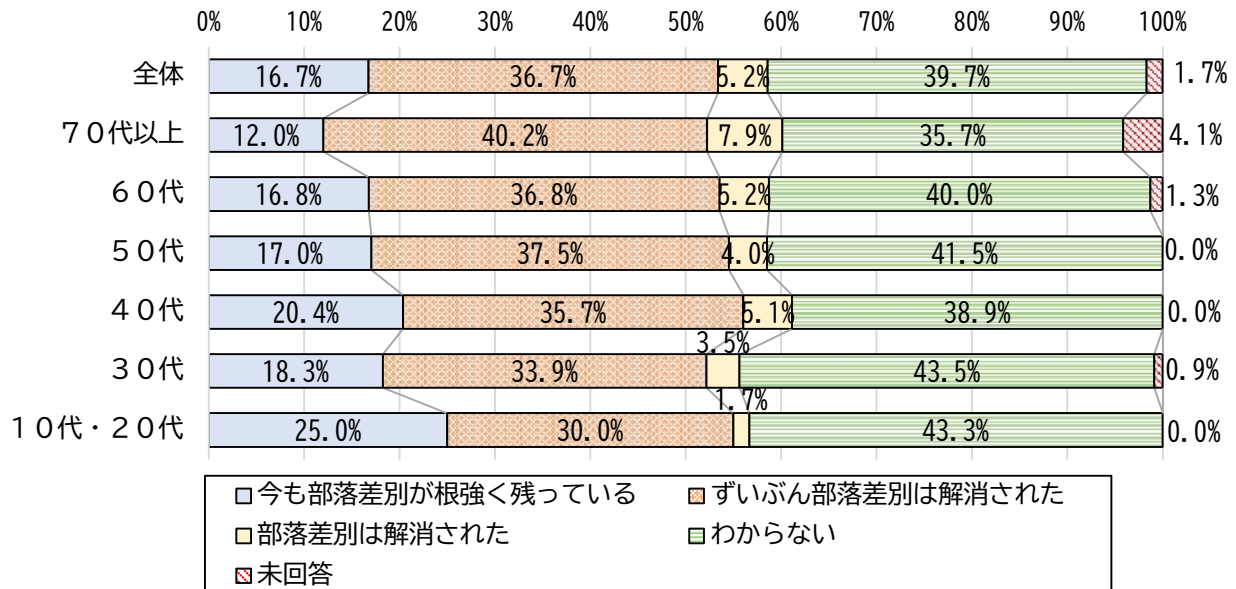
40代以下の世代で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が高く、「そう思わない」と回答した割合は50代、60代で高くなっています。



(2) 様々な人権問題について

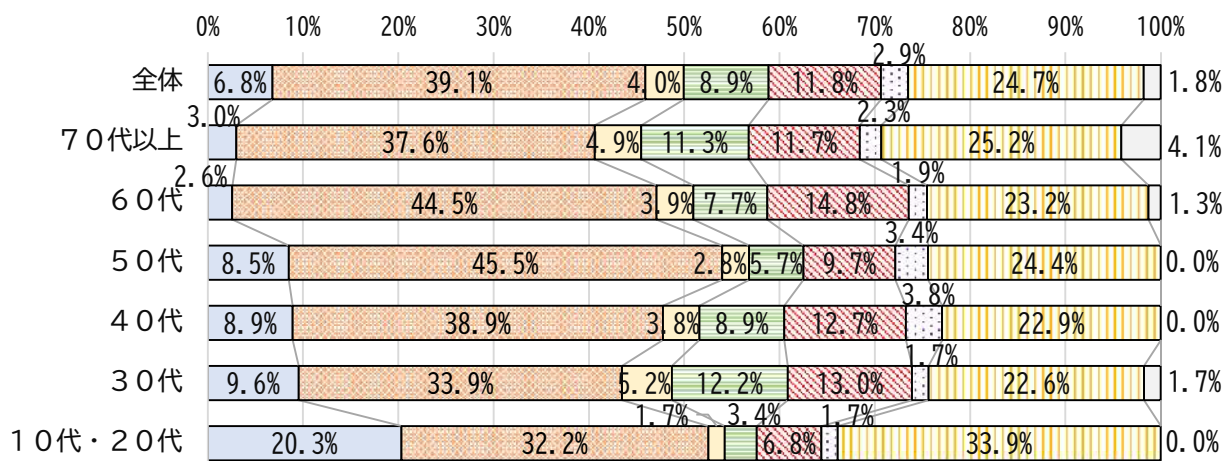
⑤ 現在の同和問題（部落差別）の状況について、どのように思いますか

「今も部落差別が根強く残っている」と回答した割合は、10代・20代で最も高くなっています。次いで、40代が高くなっており、それより年代が上がるにつれ、少なくなっています。



⑥ 同和問題（部落差別）の解決状況について、どのように思いますか

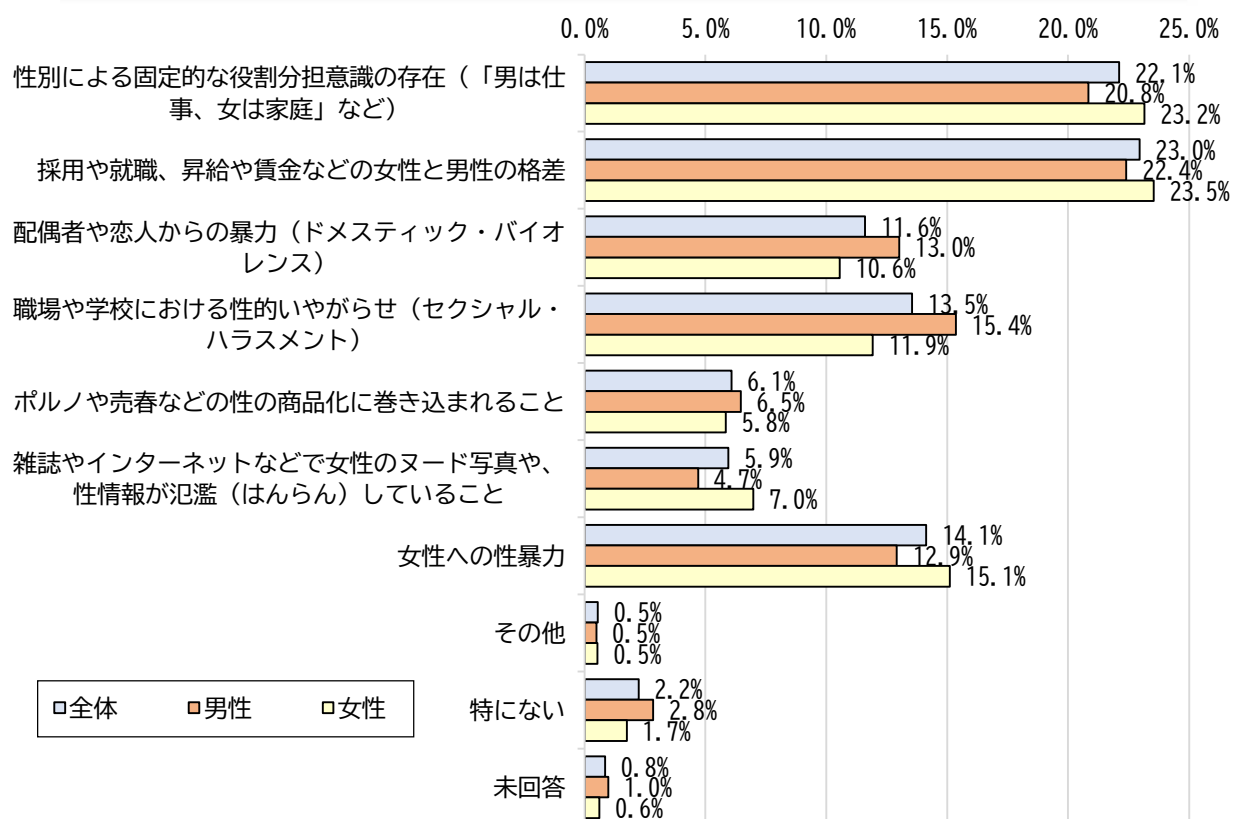
「問題解決のために自分ができる限りの努力をしたい」と回答した割合は、10代・20代が非常に高くなっています。一方で、「わからない」と回答した割合も10代・20代が高くなっています。



- ☐ 問題解決のために自分ができる限りの努力をしたい
☐ 基本的人権に関わる問題であるので、自分も国民の一人としてこの問題の解決に努力すべきだと思う
☐ 同和地区（被差別部落）の人々の問題なので、自分とは、直接関係のない問題だと思う
☐ 何もせず、そっとしておけば、そのうち差別はなくなる
☐ 同和地区（被差別部落）の人がかたまっても住まないで、分散して住むようにすればよい
☐ その他
☐ わからない
☐ 未回答

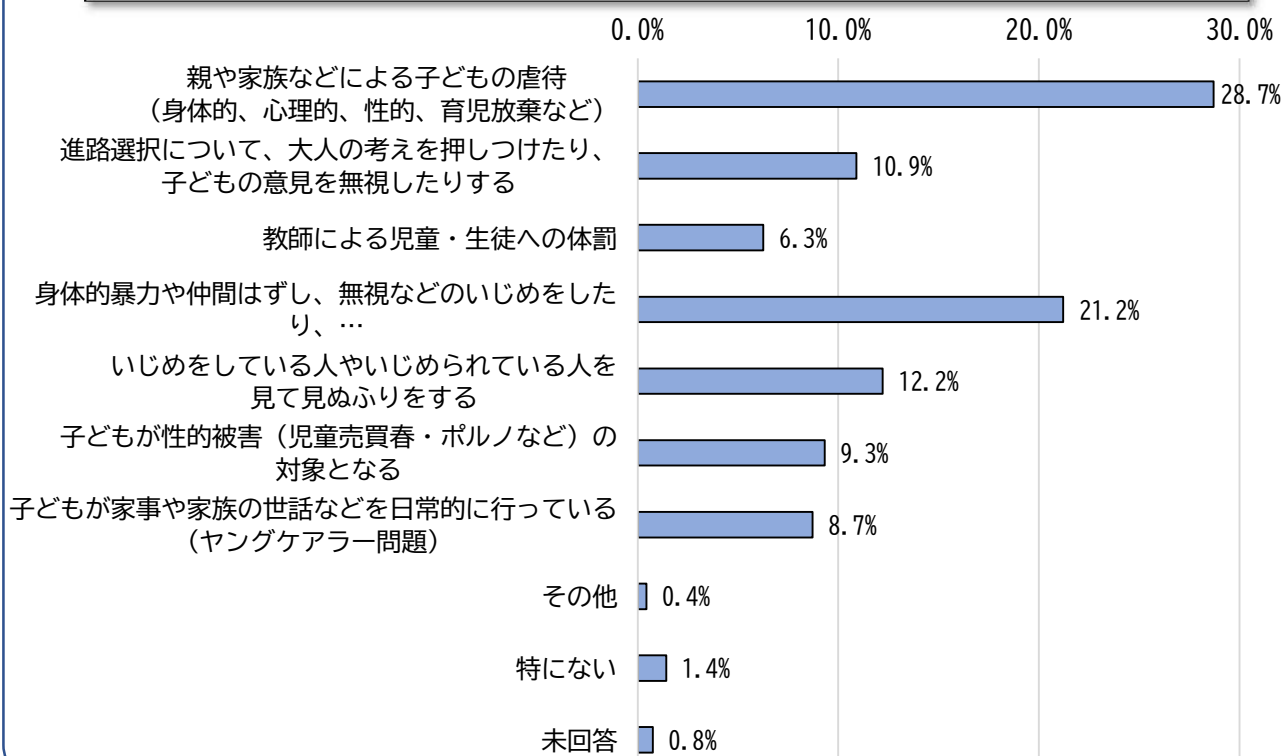
⑦ 女性の人権に関して問題があると思われるものはなんですか

就労面での男女格差、固定的性別役割分担意識、女性への性暴力の順で回答が多く、これらは男性より女性の方が回答した割合が高くなっています。一方で、DVやセクハラを問題としている人の割合は、女性より男性のほうが高くなっています。



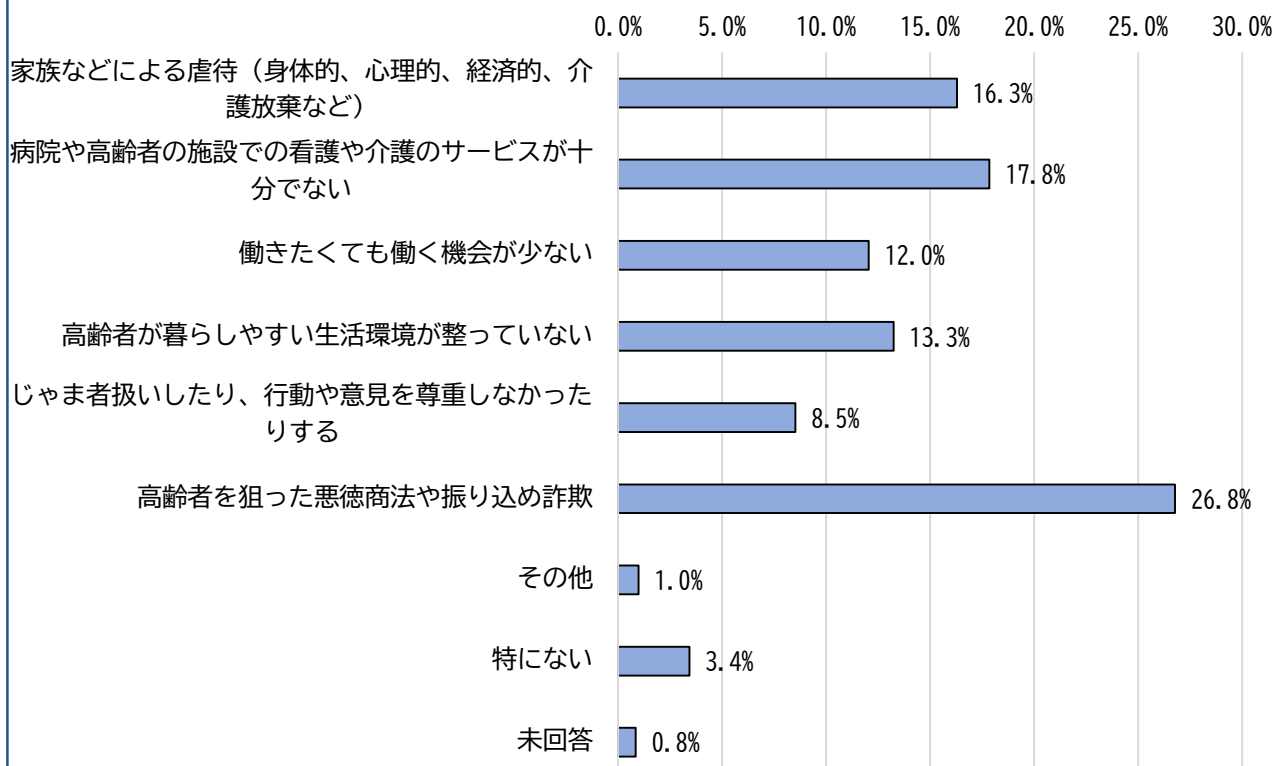
⑧ 子どもの人権に関して問題があると思われるものはなんですか

親などによる虐待、いじめが多く挙げられており、その割合は男女ほぼ同じでした。今回新たに加えたヤングケアラー問題は8.7%でした。



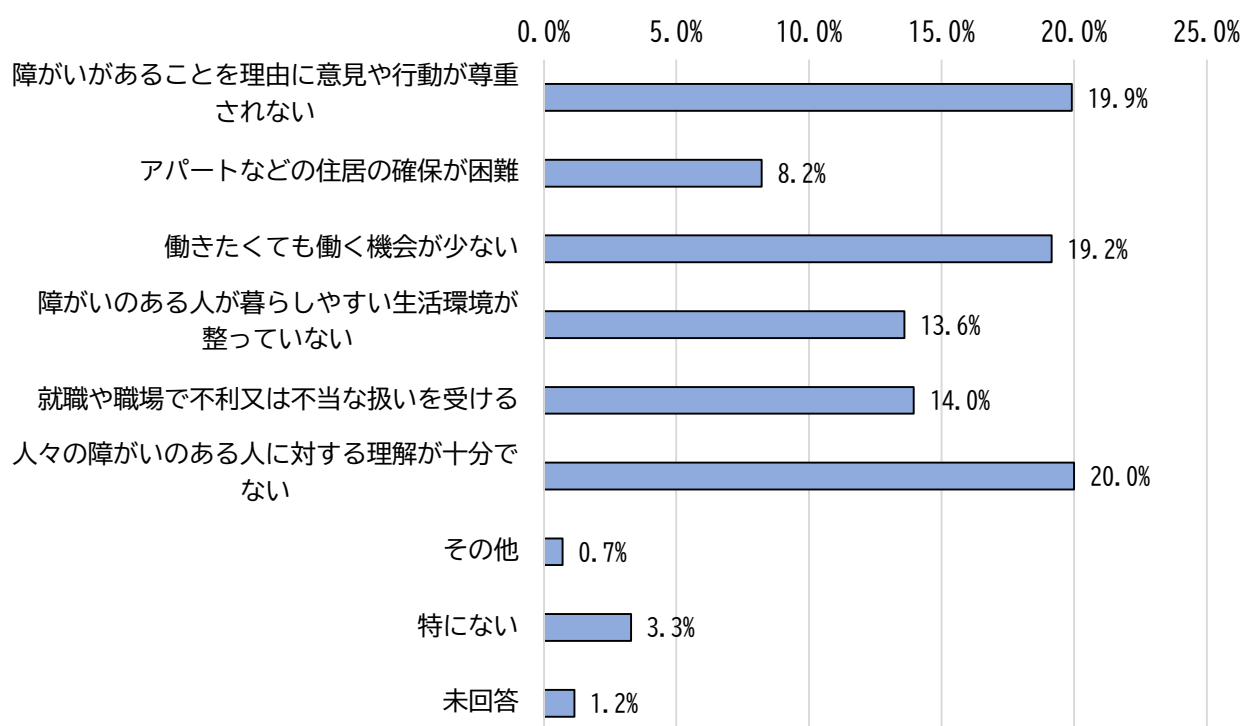
⑨ 高齢者の人権に関して問題があると思われるものはなんですか

悪徳商法や振り込め詐欺等の犯罪被害が最も多く挙げられており、家族による虐待、看護や介護の問題の割合を大きく上回っています。



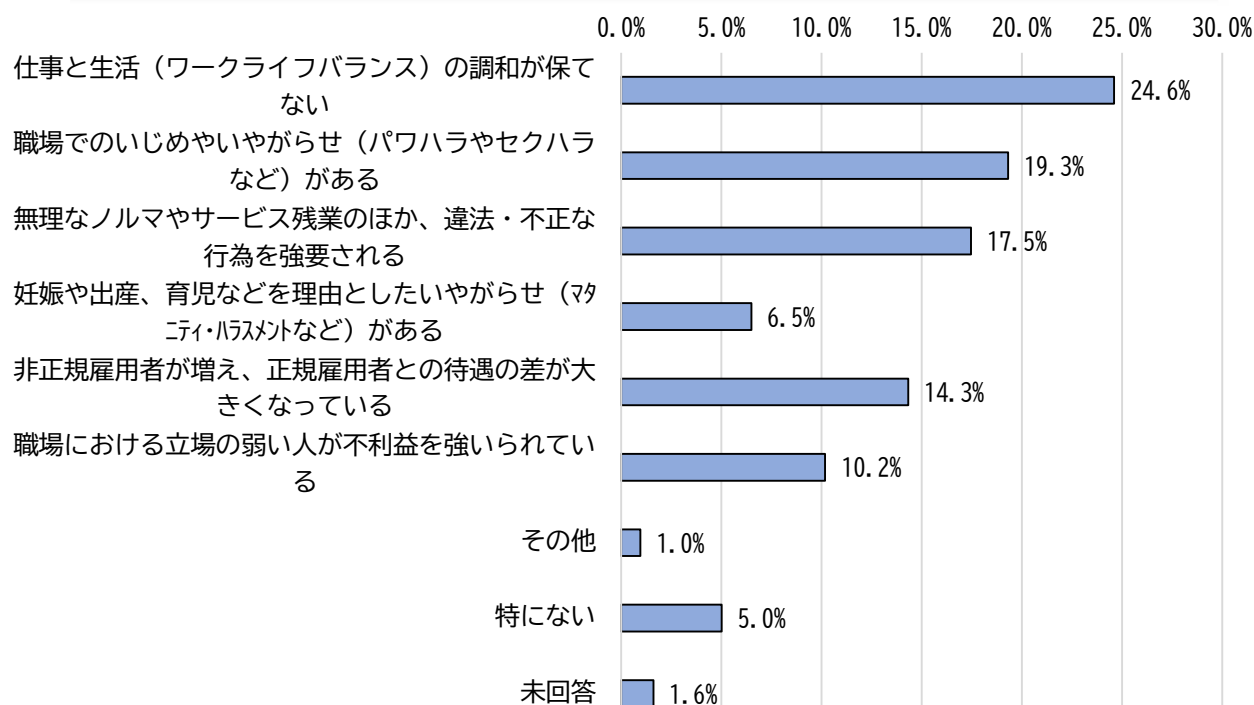
⑩ 障がいのある人の人権に関して問題があると思われるものはなんですか

周囲の理解が十分でないこと、障がいを理由に意見・行動が尊重されないこと、働きたくても働く機会が少ないことがほぼ同じ割合（20%前後）で高くなっています。



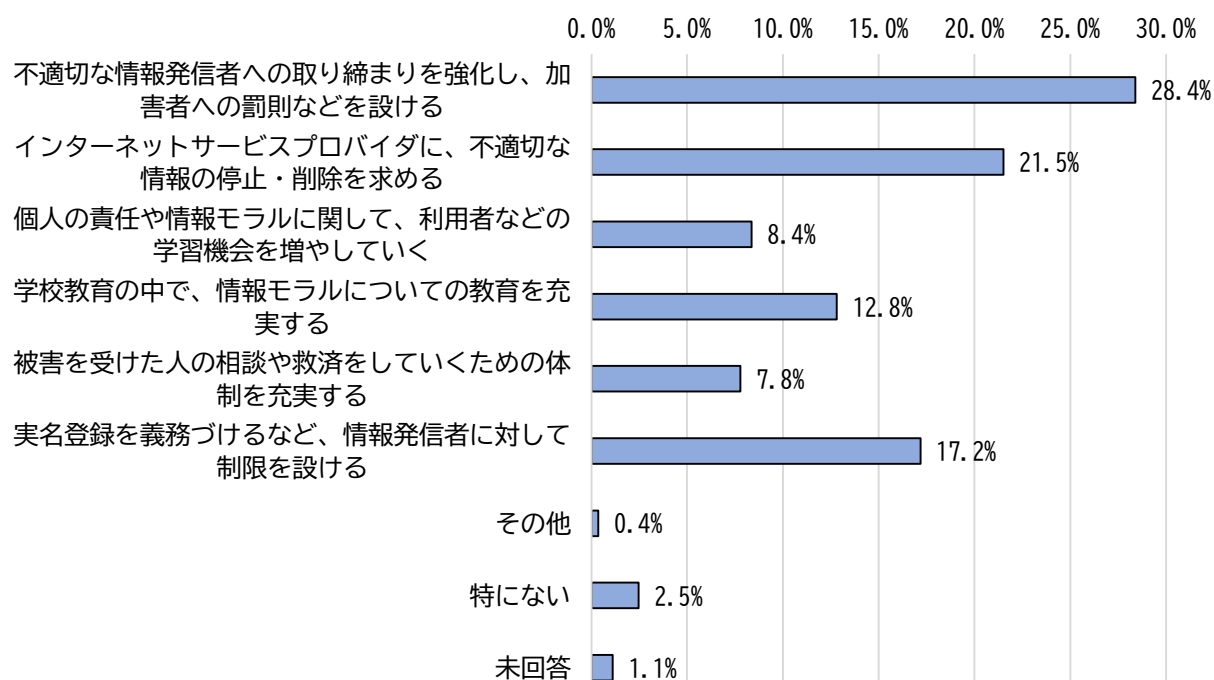
⑪ 働く人の人権に関して問題があると思われるものはなんですか

パワハラやセクハラなどのハラスメントに関する問題以上に、長時間労働や休暇の取りにくさなどのワークライフバランスに関する問題について回答した人の割合が高くなっています。



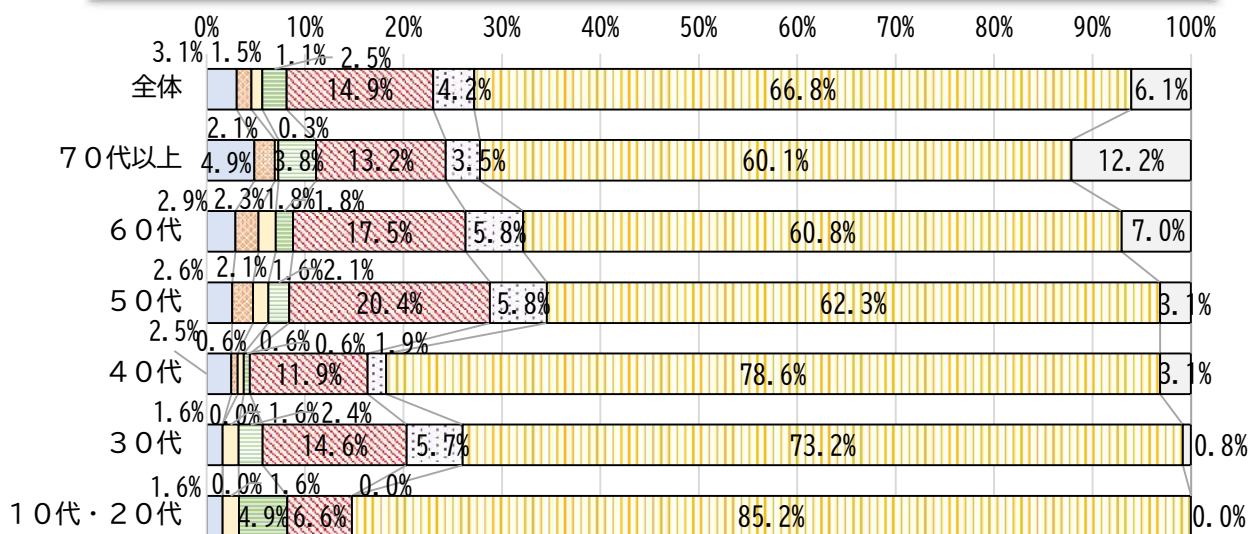
⑫ インターネットなどを使った人権侵害を防ぐために必要だと思うものはなんですか

情報発信者への取り締まりや罰則の強化に関する回答をした人の割合が最も高く、次いでプロバイダへの不適切情報の削除要求の割合が高くなっています。



⑬ 人権問題についての研修会などに参加したことはありますか

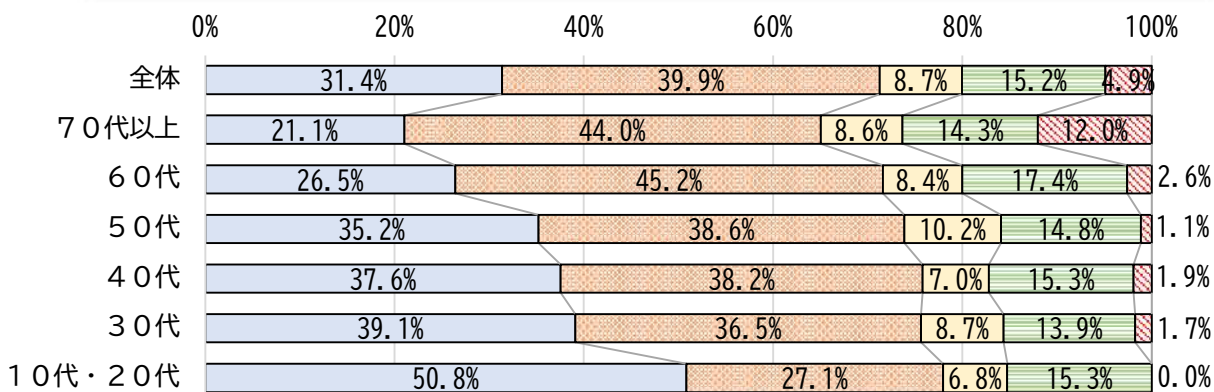
全体の 66.8%が人権に関する研修を受けたことがなく、何らかの研修等を受講したことがある人の割合は 50 代が最も高くなっています。



- コミュニティ別人権・同和問題研修会（毎年7月 各コミュニティセンター）
- 社会を明るくする運動 大野城市民大会（毎年7月 大野城まどかぴあ）
- 人権をまなぶ講座（毎年12～2月動画配信）
- 人権週間事業（講演会・映画上映会など 毎年12月 大野城まどかぴあ）
- 職場やPTA（保護者・教職員会）などが主催する研修会や講演会
- その他の県や他市町村が主催する研修会
- 研修会や講演会に参加したことがない
- 未回答

⑭ これから人権問題について学習しようと思いますか

「もっと理解を深めるために、これからも学習したい」と回答した人の割合は全体の 31.4%で、若い年代ほど高くなっています。



- もっと理解を深めるために、これからも学習したい
- 一応の知識があるので、あまり学習する気はない
- 自分とは、関係ないので学習する気はない
- その他
- 未回答

【お問い合わせ先】 大野城市市民生活部 人権男女共同参画課

〒816-8510 福岡県大野城市曙町2丁目2番1号

TEL 092 (580) 1840 E-mail jinken@city.onojo.fukuoka.jp